

# 平成24年度 学校自己評価システムシート (清和学園高等学校)

|        |  |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 通信制・単位制の良さを生かしながら、自分の目的に合わせて生徒一人ひとりの夢や希望を叶える学校 |
|--------|--|

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 重点目標 | 1 基礎的・基本的な学力の定着と個に応じた学習指導の充実に努める |
|      | 2 基礎的な生活習慣の確立と心身の健康増進            |
|      | 3 社会と関わる力を育て個々の生徒の進路指導の実現に努める    |

|     |   |              |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上)  |
|     | B | 概ね達成 (6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し (4割以上) |
|     | D | 不十分 (4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者    | 3名 |
|     | 生徒       | 4名 |
|     | 事務局(教職員) | 7名 |

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学校自己評価 |  |   |   |   |   |  |
|--------|--|---|---|---|---|--|
| 年度目標   |  |   | 年度評価(平成25年1月31日現在)  |   |   |  |
| 現状と課題  | 評価項目   | 具体的な方策  | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況   | 次年度への課題と改善策   |  |
| 1      | <ul style="list-style-type: none"> <li>通信制高校の特色の一つでもある様々な学習歴の生徒が入学してくるため、基礎学力が身につけていない生徒も多く、スクーリングでは、多くは個別指導を実施しているが、スクーリングに出席しない生徒の単位修得率が低いのでその改善を図る。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリング方法の見直しを含め、個々の学力向上を目指す。</li> <li>職員研修会の実施。</li> <li>ゼミナール形式による資格試験</li> <li>検定試験の推奨。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリング以外の日に教科別の学び直しを週5時間実施・個別の補習等を計画的に行う。</li> <li>夏休みに職員研修を実施し、個々の生徒の問題点を含めた共通理解を深める。</li> <li>月に1回発行される学校だより「SEIWA」やポスター掲示により意欲の喚起と資格取得者の学校外の単位認定や表彰等を推進する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリングにおいては個別指導に重点を置いて指導しているが、スクーリングに参加しない生徒の指導が十分に行えたか。</li> <li>共通理解が得られたか。</li> <li>受検者が増えて、資格取得者が増加したか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリング評価を1月に実施し、その結果を各教科内で分析し、スクーリングに参加しない生徒の実態が把握できた。</li> <li>職員研修で多方面からの意見交換をして共通理解を図ることができた。</li> <li>受検者が増え、英検では2級に2名合格するなど、各種の検定試験で合格者を出した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導の中で、特に不登校であったり、ひきこもりで個別指導に参加できない生徒にどう向かい合い取り組むべきかが今後の課題である。</li> <li>更に受検者を増やし、将来の「生きる力」の糧となるような各種の資格取得を目指しゼミナールとの連携を更に考えていく必要がある。</li> </ul> |
| 2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>通信制高校のため、特に基本的な生活習慣が確立されていない生徒が多く、その基本的な生活習慣の確立を図る。</li> <li>心身の健康についての関心を高める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立と心身の健康増進</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ運動の励行と遅刻を減らす指導を深める。</li> <li>健康への関心を深め、ボランティア活動を通して、美化精神を育てる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>規則ある生活態度を培う。</li> <li>自ら心身の健康管理ができる態度を養う。</li> <li>教室のゴミの削減や分別回収ができるように努める。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全職員・生徒指導部での「あいさつ運動」の声かけ指導</li> <li>遅刻指導も少しずつではあるが、成果がでてきた。</li> <li>生徒会を中心にボランティア活動として、月に2回校舎内外の美化運動に取り組んだ。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>まだまだあいさつを含めた基本的な生活習慣が身につけていない生徒も多くいるので、更なる生活習慣の確立を浸透させる。</li> <li>生徒会だけでなく、生徒自ら率先して参加できるボランティア活動を目指す。</li> </ul>                                  |
| 3      | <ul style="list-style-type: none"> <li>特に社会との関わりの苦手な生徒が入学してくるケースが多く見受けられる。</li> <li>多様な生徒の力を伸ばせるような適切な指導を行う。</li> <li>通信制高校では、就職ができていくだけではなく、就職や進学が可能な学校になるよう努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会との関わりを持つ機会を増やす。</li> <li>生徒の進路指導の実現</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアスクールや高専連携授業を通し、社会との関係をより緊密にし、生徒に自信を持たせる。</li> <li>ガイダンスや三者面談・適性検査・進路説明会などの行事を通して、個々の生徒の実態を把握し、面談内容を充実させ、進路実現の向上に努める。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアスクールや高専連携授業に参加する生徒が増加したか。</li> <li>計画的な進路指導を行う</li> <li>ハローワークとの連携や学校外での進路説明会に積極的に参加させる。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアスクールと高専連携授業に参加した生徒が67名と大幅に増えた。</li> <li>生徒個々の進路指導について、おおむね適切な指導ができた。</li> <li>大学・短大への進学希望者をこれまで以上に伸ばすことができた。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>履修指導時適切な科目履修指導を行う。</li> <li>保護者にも複雑な通信制高校のしくみを理解していただける機会を提供する。</li> <li>就職希望者の就職活動の機会を増やす必要がある。</li> </ul>                                       |

| 学校関係者評価  |  |
|--|--|
| 実施日  | 平成25年 2月21日  |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>清和学園高等学校は、不登校生徒や転編入生の救いの学校になっている。中学校や高等学校でつまづいている生徒を立ち直してくれる学校である。</li> <li>「生きる力」を育むためにも、生徒にやればできるといった自信を持たせることは大切なことであり理解できる。更に生徒が資格試験の取得を目指すよう期待する。</li> <li>資格を取得した生徒が自分を表現する力を身に付けられたのではないかと。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の最寄り駅である武州唐沢駅や校門での教員の整容指導の継続が「あいさつ運動」の成果として結びついているのではないかと。</li> <li>生徒の出来ることからスタートしてやることは良い試みだと思う。ボランティア活動が地域の人にも理解してもらえるようになってきた。</li> <li>ボランティアスクールを単位として認めていくことになって良かったと思う。</li> <li>学校内での企業説明会を実施することもできるようになって良かった。</li> <li>進学実績については、今後も生徒の夢の実現に向けて、継続した指導をお願いしたい。</li> </ul> |